

平成29年度 学校経営計画

港区立御成門中学校

校長 石鍋 浩

1 学校教育目標

人間尊重の精神を基調とし、豊かな知性と感性をもち心身ともに健全な生徒の育成を目指して次の目標を設定する。

- 豊かな心とたくましい体をもつ生徒を育てる
- 他人の立場を尊重し仲良く協力できる生徒を育てる
- 自ら計画し進んで学習する生徒を育てる

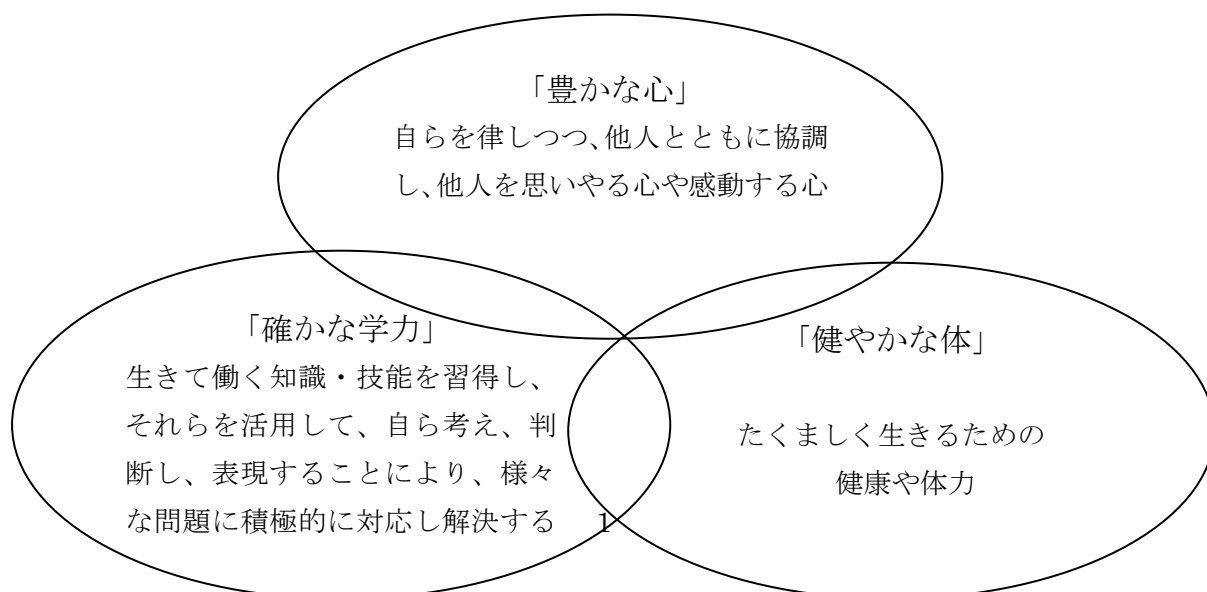
2 めざす生徒像・教職員像・学校像

(1) 生徒像

- 生徒一人ひとりの「人格の完成」と「平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質」を備えた心身ともに健康な生徒を育成する。
- 多様で変化の激しいこれからの社会を生きるために必要な「豊かな心＝徳」「確かな学力＝知」「健やかな体＝体」をバランスよく有している生徒を育成する。

《具体的な生徒像》

- ・自他の生命と人権を尊重できる生徒
- ・自分に自信をもてる生徒
- ・基本的生活習慣を身に付けた生徒（あいさつ、言葉遣い、身だしなみ）
- ・善悪の判断ができ、規範意識が高い生徒
- ・生きて働く「知識・技能」及び未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を身に付けた生徒
- ・主体的に学習に取り組む生徒
- ・たくましく生きるための体力がある生徒
- ・地域への愛着と参画意識をもつ生徒



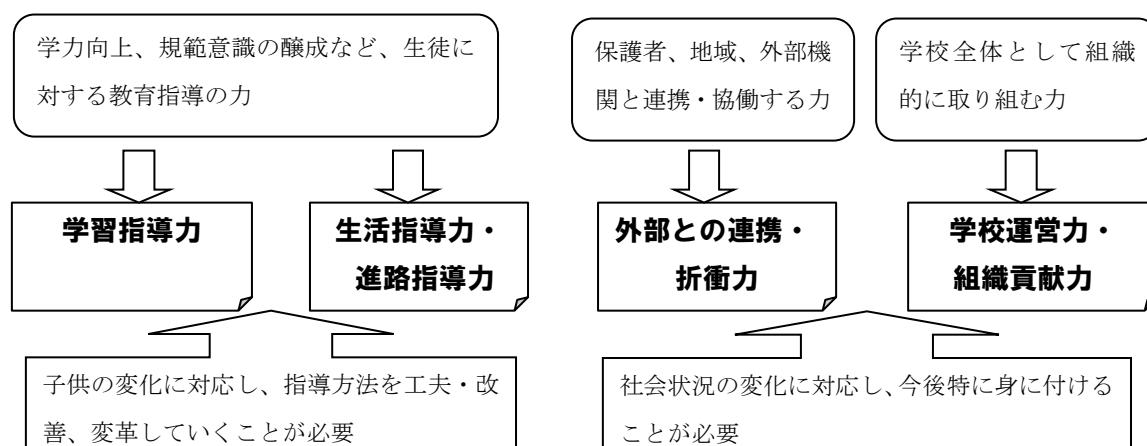
(2) 教職員像

○主体的かつ的確な判断ができ、組織として迅速に動くことができる。

○教員としての基礎基本を身に付ける。

*教員としての基礎基本とは・・・都教委が示す「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」とする。

教員に求められる基本的な4つの力



《具体的な教職員像》

- ・生徒一人一人を大切にできる教職員
- ・教育への高い意欲をもち続ける教職員
- ・常に指導力向上に努める教職員
- ・様々な人間関係を大切にする教職員
- ・危機管理意識の高い教職員
- ・組織の一員としての行動ができる教職員
- ・「カリキュラム・マネジメント」を理解している教職員

= 「カリキュラム・マネジメント」の3つの側面=

- ① 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校教育目標を踏まえた教科横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと。
- ② 教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること。
- ③ 教育内容と、教育活動に必要な人的・物質的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。

(3) 学校像

○生徒・保護者・地域から信頼される学校をつくる。

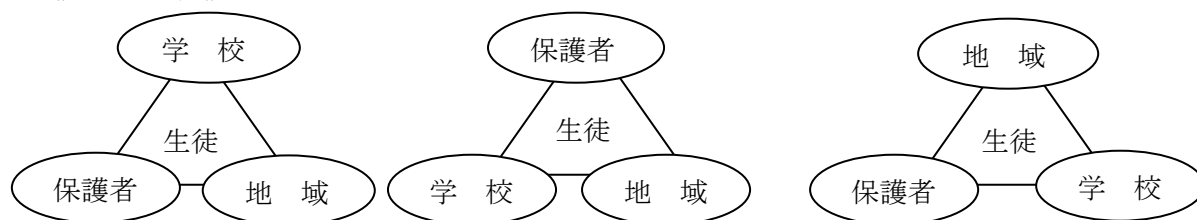
《具体的な学校像》

- ・安全、安心、清潔な学校
- ・生徒が楽しみに登校できる学校
- ・日々の地道な教育活動の積み重ねを重視できる学校
- ・心を一つにして組織力を生かせる学校＝「チーム御成門」
- ・保護者や地域と協働できる学校

◇めざす保護者・地域との関係

生徒の育成の主体は、学校が中心となり、保護者・地域が大きな支えとなることが多い。しかし、時には、保護者が中心となり、学校・地域が支えとなることも重要である。同様に、地域が中心となり学校と保護者が支えとなることも重要である。

《イメージ図》



特に、本校では保護者・地域が生徒と学校を心から愛してくださっている。そのことを全教職員が理解をし、学校教育に生かしていくことが大切である。

3 中期的学校経営目標と方策

(1) 「豊かな心」の育成 * 御成門中の基盤

○生命尊重、人権尊重の教育の充実を図る。

- ・人権週間における指導の充実（生徒主体の学習の設定、ゲストティーチャー 等）
- ・道徳教育、「特別の教科 道徳」の指導内容の充実（国や都の資料の活用）
- ・道徳授業地区公開講座の充実
- ・生活アンケートの実施・分析＝いじめの早期発見およびいじめ防止の強化
- ・「御成門中学校いじめ防止基本計画」及び「緊急いじめサポートチーム」の積極的活用
- ・教育相談週間の充実

○思いやりの心や社会性の育成を図る。

- ・道徳教育、「特別の教科 道徳」の指導内容の充実
- ・道徳授業地区公開講座の充実
- 特別活動の充実
- ・体験（的な）活動の充実
- ・奉仕（的な）活動の充実（あいさつ運動、落ち葉掃き、下駄箱美化 等）
- ・小学校との連携の充実（小中合同あいさつ運動、出前合唱・吹奏楽部・ダンス部発表、出前落

ち葉掃き 等)

- ・小中一貫教育「御成門アカデミー」の充実
- ・リーダーの育成(リーダーシップとメンバーシップ)
- ・自治的活動の充実
- ・「暴力根絶」「暴力行為ゼロ」の指導の徹底

(2) 「確かな学力」の育成 * 「育成すべき資質・能力の3つの柱」から考える。

【育成すべき資質・能力の3つの柱】

- (i) 「何を理解しているか、何ができるか(生きて働く「知識・技能」の習得)」
- (ii) 「理解していること・できることをどう使うか(未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成)」
- (iii) 「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養)

○生きて働く「知識・技能」の習得のために

《朝》

- ・集中した朝読書の徹底
- ・「自学自習タイム」の新設

《授業中》

- ・授業における指導の充実(繰り返し学習の徹底、個への指導の充実)
- ・授業の基本形(例:あきたのそちから)の積極的な活用
- ・習熟度が十分でない生徒への対応(授業中の個への指導の充実、教材の工夫、複数教材の準備)

《放課後》

- ・学生ボランティアを中心とした「御成門チューター制」(家庭教師型補充学習)のさらなる充実

《小中連携》

- ・カリキュラム作成
- ・授業研究
- ・指導案づくり
- ・TT(チーム・ティーチング)
- ・出前授業

《その他》

- ・国・都・区の学力調査の分析及び活用
- ・ねらいを明確にしたコンテストの実施
- ・家庭学習の習慣化=わかりやすく、やりやすい宿題
- ・長期休業中の補習の実施(小学校教員の協力を仰ぐ)
- ・長期休業特別講座の活用

○未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成のために

《全教育活動》

- ・「対話力」を高め、深い学びにつなげる指導のさらなる充実
- ・「主体的・対話的で深い学び」の充実をとおして生徒の思考力・判断力・表現力等を育成
- ・平成29年度末の学習到達目標「何ができるようになるか」の明確化
- ・年間計画、単元計画における「主体的・対話的で深い学び」の内容と時間の明確化
- ・「主体的・対話的で深い学び」に対する評価の工夫

《授業中》

- ・「主体的・対話的で深い学び」の充実
- ・「発問」の工夫
- ・「話し合い活動」の工夫
- ・「発表の仕方指導」と「聞き方指導」の工夫
- ・問題解決場面の意図的・計画的な設定

○学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養のために

《全教育活動》

- ・生徒が見通しと興味をもって積極的に取り組む活動の充実
- ・生徒が自らの学習活動を振り返り意味づけたり、獲得した知識・技能や育成された資質・能力を自覚したり、共有したりする活動の充実
- ・実社会や実生活に関わる主題に関する学習の積極的な導入
- ・体験活動を充実させ、その成果の振り返りを次の学びにつなげる活動の充実

*確かな学力の一面として、各種学力調査の到達目標を明確に示す。

(3)「健やかな体」の育成

○体力の向上を図る。

- ・基礎体力の向上（保健体育科の繰り返し学習の充実）
- ・体力調査の結果の活用
- ・部活動（運動部）の充実（勝利至上主義ではない）
- ・学校行事の充実
- ・オリンピック・パラリンピック教育の充実
- ・健康教育の充実

○心の充実を図る。

- ・心と身体のバランスの重視
- ・学校保健委員会の充実
- ・健康教育の充実
- ・食育の実施

(4) 保護者・地域と連携した教育の充実

- (幼) 小中一貫教育の充実を図る。
 - ・「御成門アカデミー」の積極的な活用
 - ・授業参観、学習指導案作成等を通じた相互理解・相互交流
 - ・小学校との連携を意識したシラバスの作成
 - ・児童・生徒の交流の活発化
- 地域の教育力の活用を図る。
 - ・「地域は教材」「地域は教室」「地域は先生」「地域は家族」「地域は世界への入り口」「本物との出会い」をキーワードにした教育活動の実施
- 保護者・地域住民の教育活動への参画を図る。
 - ・開かれた学校づくりのさらなる推進
 - ・参画できる場面の計画的な設定
 - ・「御成門中生の力」を地域で活用

4 平成 29 年度の重点目標

今年度の重点目標－1 《人権尊重教育の充実と自尊感情・思いやりの心の育成》		
目標実現に向けた取組		
項目	達成基準	具体的な方策
人権に関わる指導・対応及びいじめ防止の指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> いじめや学校生活全体に関する生活アンケート等において、肯定的な評価をする教職員・生徒の割合が増加（昨年度比） いじめ発生件数の減少（昨年度比） 	<ul style="list-style-type: none"> 「御成門中学校いじめ防止基本計画」及び「緊急いじめサポートチーム」の見直しと徹底 教育相談週間での面接の実施 いじめや学校生活全体に関するアンケートの実施（年6回） スクールカウンセラー（SC）とのきめ細やかな連携 いじめ防止に関するパネルディスカッションの実施 いじめ発見・防止のための教職員研修の実施
思いやりの心や社会性を育成する指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価において、自尊感情・自己肯定感、思いやりの心を育成する指導の充実を図ったと回答する教員の割合が80%以上 調査等において、自尊感情・自己肯定感、思いやりの心が高まったと回答する生徒の割合が80%以上 年間を通して、問題行動が減少(昨年度比) あいさつに関する生徒の意識・行動の変容(年度初めと年度末の比較) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育全体における自尊感情・自己肯定感、思いやりの心を育成する指導の充実 生徒会本部や各種委員会及びボランティア活動における自治的活動の促進（毎日のあいさつ運動、環境整備、保健衛生等） 「オリンピック・パラリンピック教育」の取組の充実 生徒による生活ルールづくりと呼びかけ 生徒による学校改善のための自主的な取組の実施
道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 全教育活動における道徳教育の明確化 学校評価において、道徳教育の全体計画、「特別の教科 道徳」の年間指導計画、指導方法・内容・評価の改善を図ったと解答する教員の割合が80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 国立教育政策研究所の「実践研究協力校」として、全体計画、年間指導計画、指導方法・内容・評価の改善 「私たちの道徳」「心みつめて」等の積極的・計画的な活用 道徳授業地区公開講座の内容の充実及び参加者の増加（保護者、地域への発信）
特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談的指導の充実(昨年度比) 校内委員会・関係諸機関との連携の充実(昨年度比) 	<ul style="list-style-type: none"> SC、子ども家庭支援センター、児童相談所、区教委等との連携強化 諸検査の分析・活用
暴力根絶の指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して、暴力行為「ゼロ」 教員の体罰及び行き過ぎた指導「ゼロ」 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活における継続指導 校内研修会、OJT による指導力の向上 組織的な指導体制の確立 家庭・地域、関係機関との連携強化

今年度の重点目標－２
《主体的・対話的で深い学びの実現》

目標実現に向けた取組

項目	達成基準	具体的な方策
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科等の授業における「主体的・対話的で深い学び」の実現（昨年度比） ・生徒の学習量・活動量の増加（昨年度比） ・主体的・対話的な学びから深い学びへの発展 ・生徒による授業評価の結果向上（昨年度比） ・全教育活動における「主体的・対話的で深い学び」の意図的・計画的な設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教員の授業観察（１単位時間）・事後指導を年３回以上実施 ・DVD・ハードディスクの活用（自身の授業の振り返りおよび教員間の授業研究に活用） ・校内研究の充実 ・意見を述べ合う活動、根拠を示しながらの説明、筋道を立てての説明、他者と協働した学習、音読、レポート作成等の充実 ・手法として、ペアワーク、グループ活動、ラベルワーク、パネルディスカッション等の活用 ・基本的な指導技術の習得 ・授業中の個別指導、反復学習の充実 ・学力調査の分析 ・学習評価の充実(診断的評価・形成的評価・総括的評価) ・パフォーマンス評価の充実 ・ルービック評価の試行
生徒一人ひとりの学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・各学力調査における各教科の目標通過率・平均正答率の向上（昨年度比） 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数・習熟度別指導によるきめ細やかな指導の充実（数学・英語） ・授業中の個別指導、反復学習の充実 ・思考・判断・表現する場面の意図的な設定 ・問題解決場面の意図的・計画的な設定 ・放課後の学生ボランティアを活用した「御成門チューター制」の実施 ・年度末の学習到達目標の明確化
学習意欲の向上と学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査等における学習意欲、学習習慣に関する回答の向上(昨年度比) ・自学自習の質の向上 ・家庭学習時間の増加(年度初めと後半との比較) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中におけるよさの積極的な評価 ・「ライフ」の活用を通じた家庭学習の意識づけ ・自学自習の習慣づくりのための具体的な指導 ・学力調査の分析 ・わかりやすく、やりやすい宿題の提示

<p>小中一貫教育「御成門アカデミー」を活用した学力向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿った教職員の連携（授業改善、学力向上） ・生徒による学習支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との円滑な接続を意識した「連携計画」の作成 ・「御成門アカデミー」を活用した指導技術の習得、指導内容の充実等 ・出前授業、授業公開、補充学習への支援(小中相互、夏季休業) ・生徒による学習支援の実施
----------------------------------	--	--

<p align="center">今年度の重点目標－3 《体力の向上と心の充実》</p>		
<p>目標実現に向けた取組</p>		
項目	達成基準	具体的な方策
<p>基礎体力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育科の授業における積み重ね（毎授業時間） ・体力向上月間の実施 ・体力調査結果の向上（昨年度比） 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育の授業における補強運動の実施（ルーティン化） ・心拍数を意識させた運動 ・「体力向上月間」の内容の工夫 ・体力調査の結果の活用
<p>運動部活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上を意識した練習の実施（年間通して） 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上を意識した練習計画作成 ・保健体育科の指導との連携
<p>健康教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な健康教育の実施（年間通して） 	<ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭の講話等による健康教育の実施 ・健康管理に関する指導の充実（日常化） ・保健体育科における健康教育の充実

<p align="center">今年度の重点目標－4 《保護者・地域と連携した教育の充実》</p>		
<p>目標実現に向けた取組</p>		
項目	達成基準	具体的な方策
<p>小中一貫教育「御成門アカデミー」の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の交流活動の増加(昨年度比) ・P T Aの連携活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の交流の活発化（小中合同あいさつ運動、出前合唱、ダンス部発表、生徒による学習支援等） ・P T Aの連携活動の活発化
<p>地域の教育力の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者の地域の教育活動への参加率の増加(昨年度比) ・地域との具体的連携の増加(昨年度比) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「身近な街のコンサート」「ふれあい活動」「自然体験」「防災活動」等への生徒参加 ・スウェーデン大使館との交流 ・虎ノ門交響楽団との交流 ・アスリート、ダンサー等による専門的な指導 ・地域にある企業との連携開始 ・地域の方による進路指導における面接指導及びマナー教室における講話

